

大型クレーン1台でタワーを建て起し

調査・設計

計画・解析

施工・ICT技術

安全

環境

お客様のメリット

- クレーンを2台必要としないため、狭隘な施工ヤードでの作業を可能とします。
- クレーン1台での施工となるためコスト縮減に貢献します。

技術の特徴

通常、風車のタワー部分の建起しは、クレーン2台を用いて行われており、建設地点が山間部となるためクレーン2台を設置が可能なヤードの確保やクレーン配置計画が課題となる場合が多くありました。大成建設では風力発電機タワーの建起し専用架台を開発し、トレーラーに寝かされた状態で建設地点まで持ち込まれた風車のタワー部分を当社開発の建て起し専用架台を使用することで、1台のクレーンで簡易に建て起こしが可能となります。本工法の採用により、ご覧のように必要なクレーンが1台となり、ヤードの課題解決や施工コストが低減されます。

新工法 クレーン1台

タワー搬入



荷降



建て起こし



設置完了



在来工法 クレーン2台

タワー搬入



荷降



仮置



建て起こし



設置完了

実績・事例

東室蘭市、電材重機(株)資材ヤードにて実証実験を実施し、有効性を確認（2022年2月）